

## 後期の保護者・児童アンケートの結果について

-2回のアンケートをきちんと受け止め、さらなる改善に生かします-

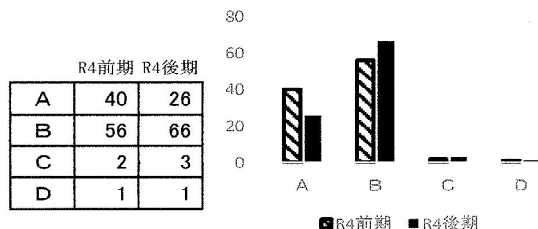
校長 加藤 隆史

12月に第2回の保護者アンケートと児童へのアンケートを実施しました。ご回答ありがとうございました。今年度は夏休み前にもアンケートを実施しました。その結果や昨年度の比較を通しながら、学校の取組や児童の様子、またご家庭の取組や保護者様の意識を把握し、今後の学校経営に生かしていきます。皆様のご意見やご要望についても、すべてに目を通し、職員でも方向性を共有しました。これらを真摯に受け止め、改善できる点につきましては、早速、策を講じていきます。

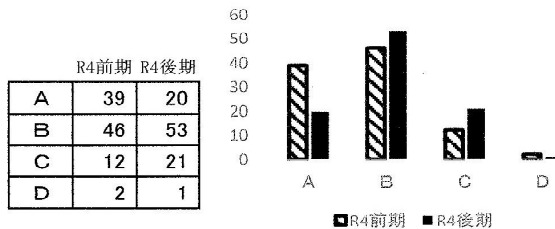
### 令和4年度 土岐小学校 保護者アンケート結果

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない 《数字は% 「わからない」の回答は除く》

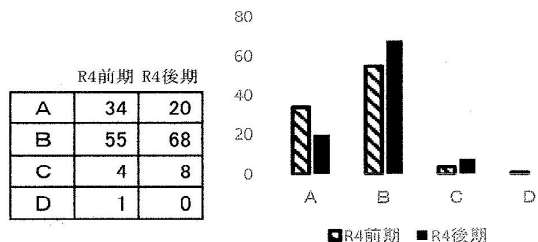
①「と」友だちを思う心が育つよう指導できている。



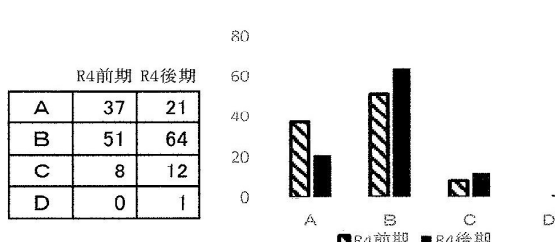
②「き」気持ちのよい挨拶ができるよう指導できている。



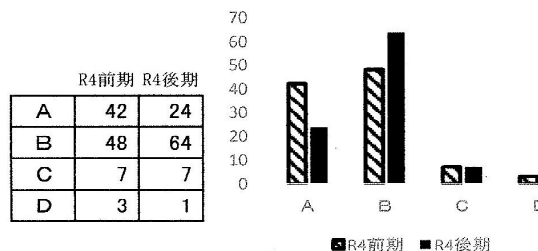
③「つ」強い体づくりができるよう指導できている。



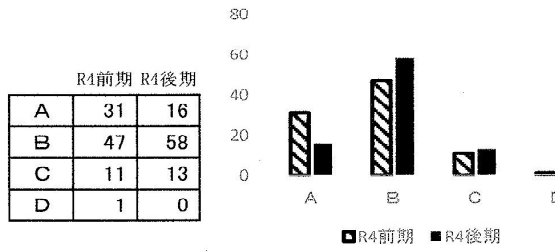
④「こ」声のある確かな学力が付く授業ができている。



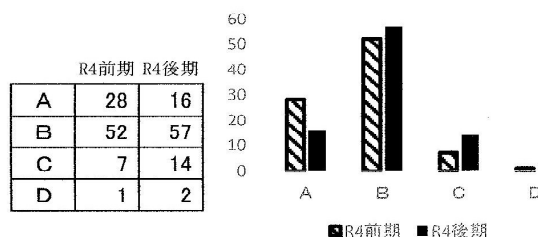
⑤防災・命を守る指導ができている。



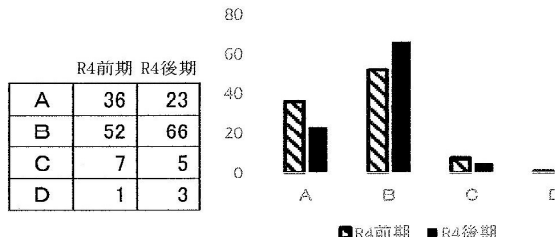
⑥いじめや暴力を許さない指導ができている。



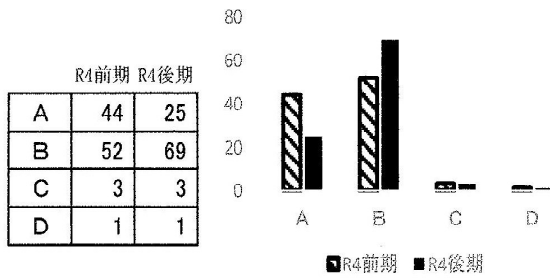
⑦情報モラルやタブレットの指導ができている。



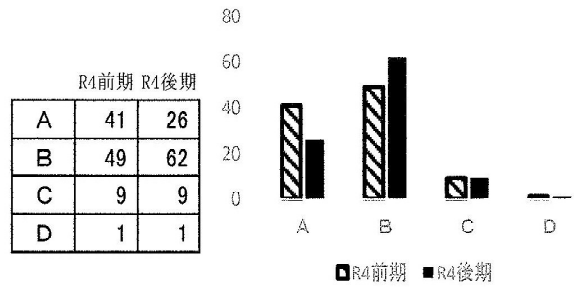
⑧一人一人を大切にしたい指導ができている。



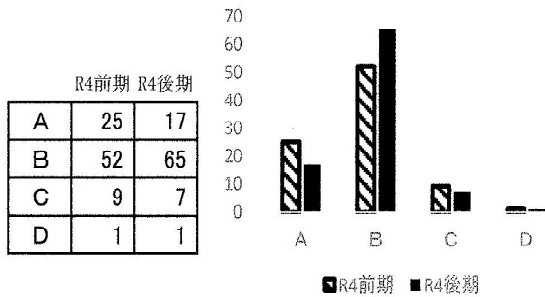
⑨学校行事や学校公開の充実を図っている。



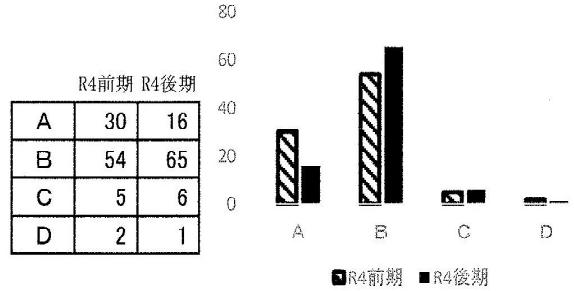
⑩学校と家庭との連携を図っている。



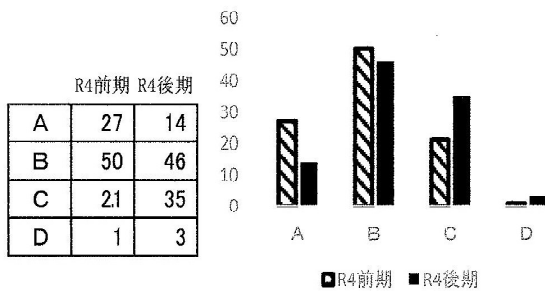
⑪学校と地域との連携を図っている。



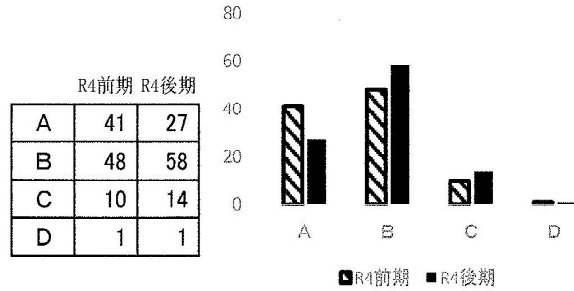
⑫学校は適切に働き方改革を進めている。



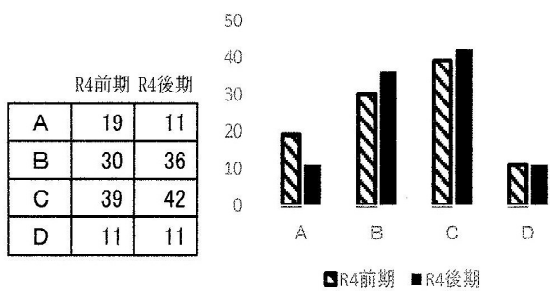
⑬お父さんは家庭や地域であいさつをしている。



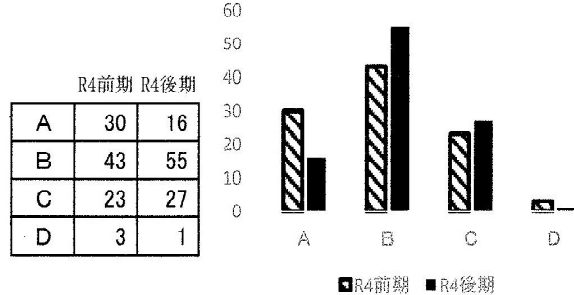
⑭お子さんとの会話やふれあいを大切にしている。



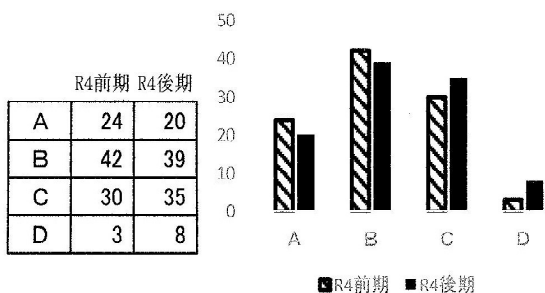
⑮テレビやスマホ、ゲームに関するルールを守っている。



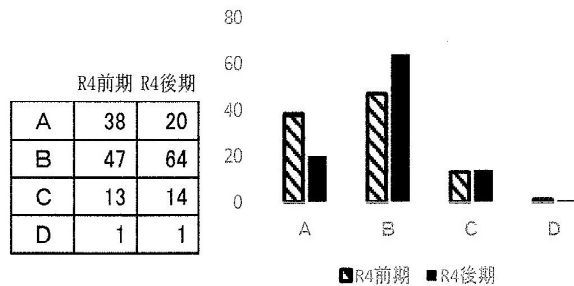
⑯お子さんの家庭学習や学習用品を確認している。



⑰お子さんは家でお手伝いをしている。



⑱お子さんのよさを褒めたり認めたりしている。



### <保護者アンケートから>

- 本校が合言葉としている「みんなちがってみんないい」に関わる項目である「仲間を思う心」や「一人一人を大切にすること」という点については前期と同様に90%以上の肯定的な評価でした。一人一人のよさを認め合い、職員もそれに寄り添うことができるようになってきています。さらなる向上をめざします。
- 学校の活動や行事については肯定的な回答が95%以上と前期に続き、概ねご理解いただけていました。これについては保護者の皆様や地域の支えがあってこそと感謝しております。今後も、「学びを止めない」を合い言葉に、感染拡大防止に努めながら活動を進めていきます。
- 学校と地域との連携については前期よりも肯定的な回答の割合が増えました。コミュニティスクールにより地域との連携により子どもを育てていく意識や活動を更に充実させていきたいと考えています。
- 前期同様、多くのご家庭で、「お子様とのふれあい」や「よさを認めほめる」などの肯定的な回答の割合が高く、望ましい親子の関わりがなされています。こうした家庭教育が基盤となって今の子どもたちのよさが学校で発揮されていると感じています。
- 「あいさつの指導」に関する項目の肯定的な割合が80%を割りました。生活委員会の挨拶運動の取組により登校時の挨拶はとて良くなりました。しかし、日常の挨拶や来客者への自然な挨拶や登下校時の地域の方への挨拶など、課題となる点は多くあるとらえています。この点についてはご家庭や地域とともに取り組んでいくきたいと考えています。
- 「いじめや暴力を許さない指導」は、83%と他の項目に比べ肯定感な割合が前期に続いて低かったです。2学期以降、「いじめ」などの問題行動については、アンケートを即時に生徒指導主事や管理職と共有することを大切にしてきました。しかし、自由記述からも分かるように「全職員で」「どの学級でも」という点に弱さがあります。この点を課題として解決を図っていきます。
- 学校での「情報モラルやタブレットの指導」、ご家庭での「テレビやスマホ、ゲームのルール」について否定的な回答の割合が高かったです。一人一台タブレットを今後、日常的に家庭に持ち帰ることも検討しています。来年度、情報モラル教育の充実を図るとともに、PTAと連携して保護者向けの情報モラル講話等を実施していきます。

## 【保護者様からのご意見やご要望に対する回答】

### <学校の行事に関する事>

6年生。今年は修学旅行に行けた事、非常に喜んでいました。よい学びの機会となったようです。

運動会のダンス等、活躍の場が持てた事、また実際に観覧出来た事。日頃からの感染対策しながらの先生方の指導のおかげです。ありがとうございました！

今年は入学して初めて運動会を間近で見ることができ、子供達の日頃の頑張りをより感じる事ができました。コロナ禍で様々な制限がある中開催して頂き嬉しく思いました。また、子供一人一人の気持ちに寄り添った対応をして頂きありがとうございます。

運動会を見届けてられた事がとても良かったです。やはり成長を肌で実感する事ができました。このまま続いていくと良いと思います。コロナでの文化的活動制限があると思いますが、是非観てみたいです。

感性等を育む芸術鑑賞は昨年体験した子らが目を輝かせて話してくれ、中止は残念でした。

⇒今年度、3年ぶりの宿泊的行事や保護者の参観による運動会を実施しました。こうした学校行事は子どもたちの成長に大きく寄与するものであると学校も実感させられました。こうした行事を行えたのも保護者や地域の皆様のご理解とご協力があってこそと思っています。今後も「学びを止めない」を合言葉として進めていきます。しかしながら、感染の状況に気を配り、状況によっては縮小や中止など拡大防止の措置をとらせていただきますので、ご了承ください。

授業参観を2つのチームにわけて行っているが、授業参観の内容はどの日についても同じにしてほしいです。もしくは、おなじ教科にしてほしいです。

⇒3学期については授業参観の公開を1時間のみで予定しております。担任や子ども等の負担も考慮して、来年度も1時間で場合によっては過密をさけるような配慮をしていく方向で考えています。また、学級懇談会も今後は実施を予定しております。

## <ICT（一人一台タブレット）に関する事>

体調不良のお子さんへのタブレット授業や、連絡など、とてもこまめに対応頂き感謝しております。先生方も無理されず、これからも、明るく笑顔溢れる学校でありますように。

欠席時のオンライン授業とありましたが、タブレットを持ち帰っておらず受けておりません。皆さんはどうなんでしょうか？タブレット毎日持ち帰ってますか？今回1週間程お休みした際、授業が進みわからなくて子供が混乱してました。

今学期、体調不良や予防的に何度か数日欠席しましたが、土岐小学校では欠席時のオンライン授業が行われてない？のかタブレットさえ家に持って帰ってこなかったです。

身内に体調不良者が出たなどの理由で、不意に欠席しなければならない場合があります。その時は、学校までタブレットを取りに行けないこともあります。欠席した次の日の宿題や時間割りを、タブレットにアップされても、自宅にタブレットがなければそれを確認することができません。こちらが問い合わせするまで、何も連絡がいただけないこともありました。次の日の宿題や時間割りが、COCOOで確認できるといいと思います

学校を休んだ際のリモート授業の対応がもう少し早いと助かります。

⇒感染症等による自宅待機におけるタブレットによるオンラインでの授業を発達段階に応じて全ての時間というわけにはいきませんが、これまでも行っております。しかしながら、ご意見にあるように学級ごとにバラつきがあったり、学校側から積極的に活用を促すことがなかったりしたことは大きな反省です。早速、登校できない場合にはこちらからタブレットの利用についてお尋ねするよう全職員で確認をしました。また、学校までお越しいただけない場合についても受け渡しの方法を相談させていただきます。さらには、今後、タブレットの日常的な持ち帰りについても検討をしていく予定です。ご承知ください。

タブレット端末の活用も増えてきていますが、子供とデジタル機器との付き合い方は、コミュニケーション不足を含め課題が多いと感じます。コロナ対策をしながら難しい部分もあるとは思いますが、できるだけ異年齢行事や子供同士の時間を確保して行って欲しいです。

⇒学校報でも触れさせていただきましたが、今後は世の中がソサエティ5.0という新しい時代に入っていきます。その中でICTとの向き合い方が大きなポイントとなります。効果的にタブレット端末を活用しながらも、適切な使い方を情報モラル教育を通して指導をしていきます。また、直接的な人と人との関わりや触れ合いも人格形成の上で欠かすことはできません。対面で行うこととオンラインで行うことのバランスを考えた活動を進めていきます。その点では、本校の「なかよし活動」の異年齢の触れ合いは今後も大切にしていきます。

## <学校の指導に関する事>

子どもからお友だちにわざと手を出されたと言われたが報告がない時があった。いつもは連絡がいただけるがその時は連絡がなくて残念だった。

お友達に対しての思いやりの無い態度、トラブルがあったことを懇談会で伺いました。娘に注意が必要な内容だった為、出来れば、その当日なり、近い時に教えて欲しかったです。

⇒問題が起こったときは、その日のうちに学年主任、生徒指導、管理職で共有し、保護者の皆

様に連絡するようにしています。しかし、こうしたご意見があるということは、それが十分に徹底できていないということです。この点についても、再度、全職員で確認をします。本当にご心配をおかけしました。

冷房、暖房のオンオフの温度設定のルール 室内外のアウター着用のルール(外に遊びに行くときに登校時に着ているものを着ていいかと聞いたら確認すると先生も曖昧だった)先生によって、まちまちなので統一したことを言ってほしいと子が申ししております。また親にも共有してお知らせいただけると助かります。

⇒この点についてはご意見の通り課題であるととらえています。このようなルールやラインが教師によって異なることは児童も戸惑いや不信感を招くことであり、保護者の皆様からの信頼を損なうことです。冬季においては服装や防寒具などのルールが複雑になります。前回の職員会でも、その点についての統一した理解と行動をしていくよう確認をしました。また、年度当初に職員も児童も「学校の生活に関するきまり」を共通理解できる手立てを講じます。また、保護者の皆様にもきちんと提示をしていきたいと考えています。

ご負担も大きい中、親の話にも耳傾けてくださり、個別対応もよくしていただき大変ありがたく感じております。真摯に回答したいとは思いつながら、私たち保護者には一面しかみる機会がないので、情報不足で分からないの回答が多くなり恐縮です。家庭ではもちろん、学校でも、子の自主性の尊重や自信を持てる授業や対応を今後も期待します。

自分の思いや行動の表現する力も増え先生方も温かく関わってくれていることで気持ちのコントロールができています。子供の成長とともに先生方の温かい関わりに感謝しています。ありがとうございます。

日々の学校生活が、子ども達一人一人を大切にしていると感じられない。対応が丁寧と感じられない。子ども達の声にもう少し耳を傾け、寄り添って欲しい。

⇒「すべての子どもをすべての職員で」寄り添うことを大切に子どもに寄り添うよう指導をしてきています。その中で、一人の児童でも、お一人の保護者様でも、大切にされていないと感じることがないように今一度、こうしたご意見を厳しく受け止めていきます。

暴力や暴言を吐くお子さんに対してもう少し指導をきちんとしてほしいです。

子どもから授業中に問題行動をしている子がいてその子の指導で授業が全然出来ない、今でも変わらない様子なのでどうか改善させて欲しいです。授業参観でも見させていただいたが支援の先生が入っていても大変な子が何人もいてたいへんそうです。

⇒「いじめや暴力を許さない指導ができています」という点については肯定的な回答が83%と全体の中でも低かったです。また、前期からも下がりました。「子どもに寄り添う」という点とともに、この点についても真摯に受け止めて全職員で確認をします。また、担任一人で抱えるのではなく、こうした行動については子どもたちに指導していきます。

## <情報公開や連絡に関すること>

学校での様子を撮影した写真などを保護者が見れるシステムがあれば 子供の様子が今以上に分かりやすいと、思います。

⇒2月4日から瑞浪市の小学校のHPがリニューアルされます。学年ごとの活動の様子をみることができるようなど、現在のHPよりも見やすいものになるかと思っておりますので、ぜひご覧ください。但し、児童の個人情報を守るために個人が特定されるような写真についてはあまりHPに載せないようにしていますので、ご了承ください。

紙でのお知らせもいいですがコクーでお知らせの方が携帯で確認できるので管理しやすく便利です!ただ、紙の方が確実に手元に届くので見落としがないですが、もう少しコクーを活用できるといい気がします!

⇒COCOOについては、できるだけ学級閉鎖や急な早帰りや警報発令時の引き取り、近い期日での予定の変更などの緊急性のあるものにしていきます。したがって学校からCOCOOに

よりメールが届いた場合は急を要するものであると理解していただけると幸いです。文書でのお知らせについては、お仕事のご都合等もあると思いますので、行事の1か月前を目途にご案内をしています。何卒、ご理解をお願いします。

通知表は二学期制でよい。

⇒学校生活のサイクルの多くが前期、後期になっています。また、教師がゆとりをもって子どもたちと向き合うためにも通知表も含めてた二学期制については今、瑞浪市全体の課題となっています。この進捗状況については、今後、保護者の皆様にも情報を提供していきます。

### <危機管理や児童の安全に関すること>

以前、子どもたちの登校時間にミサイルによるJアラートが発令された時に対象地域ではなかったのですが、これがもし対象地域であった子どもたちは自分たちだけで安全確保できるのか不安になりました。ミサイルだけではなく子どもたちだけの状況で何か起こった時どう行動して良いのか指導していただけたら安心です。

⇒現在、命を守る訓練については火災や地震、引き取りを行っています。また、方法についても学校にいるときのみです。子どもたちだけの状況である登下校時の避難方法についても今後は検討していきます。また、地震や洪水だけでなく様々な危機についても子どもたちに考えさせ、自ら考え行動できる力をつけさせていく安全教育を検討していきます。

1年生下校の時の帰りが遅く心配です。途中で寄り道して遊んでしまったり決められた通学路を通らないこともあるようです。

⇒早速、学校でも1年生職員に伝え指導をしていきます。帰宅時間についてご心配なことがありましたらご気軽にご連絡ください。

毎年の引き取り訓練ですが、学校が堤防より下にあるのに、あの訓練をしても意味がないと思います。高台に避難するなど、対策を考えないと最悪私達もあの道を通って迎えになんて行けなくなってしまうので、考えた方がいいかと思えます。

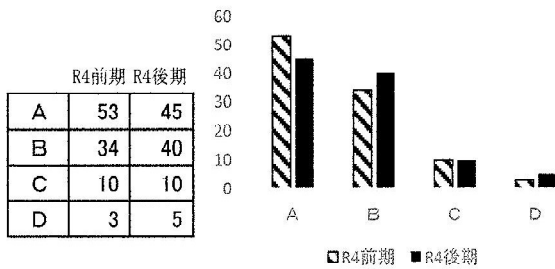
引取訓練で子どもを引き取る時の経路が安全なのか不安を感じます。土岐小学校は土岐川と松洞川にはさまれています。もし大雨で川が増水した時は垂直避難が安全だと言われますが子どもたちはわざわざ体育館を経由しています。もし災害に遭ったときに本当にこの経路で子どもの安全を守ることができるのでしょうか。臨機応変に対応していく必要があると思いますが、また、今回の訓練では先生方の連絡の行き違いがあったのか車で20分以上待っても子どもが来ず、結局自分から再度申し出ると「あー」といった様子で忘れられていました。こういった先生方の対応にも正直不信感を抱きました。いざとときに備えての訓練ではありますが、その時にきちんと対応できる訓練であってほしいと思います。

⇒土岐川沿いの学校ということで大雨や洪水に関しては他校よりも危機意識の高さと専門的な知見を持っている必要があります。前期にもこのことについてご意見をいただきました。そのことも踏まえて常に情報を収集して早めの対応を心掛けるようにしています。しかし、現在の引き取り方法については学校としても見直していく必要があると考えています。土岐川沿いの道路が渋滞することなく引き取りができることも大切です。また、垂直避難をして待機することも必要となります。これらのご意見を参考にして改善を図ります。

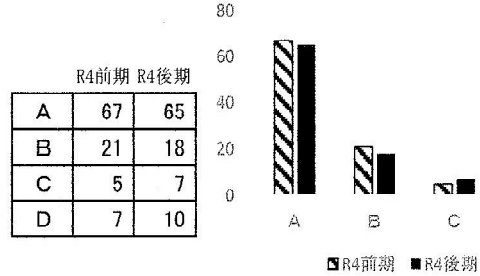
## 令和4年度後期 土岐小学校 児童アンケート結果

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない 《数字は%》

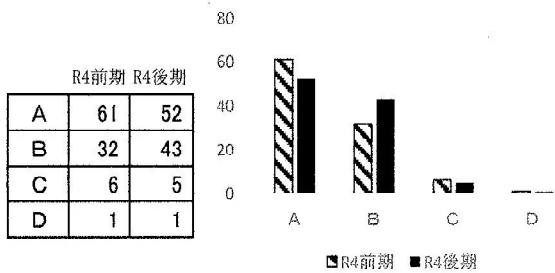
① 自分にはよいところがあると思いますか。



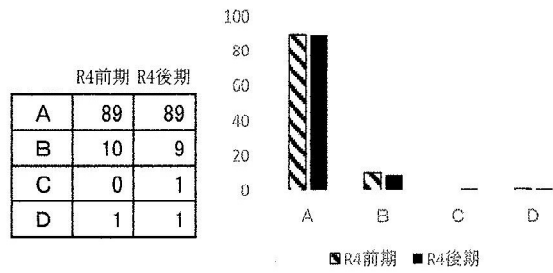
② 将来の夢や目標を持っていますか。



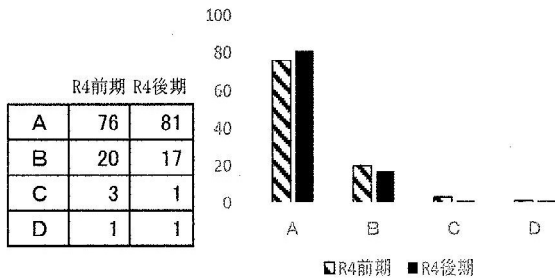
③ 学校のきまりを守っていますか。



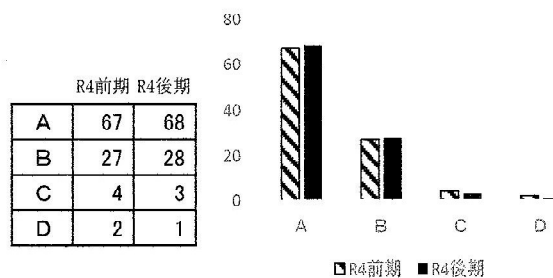
④ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。



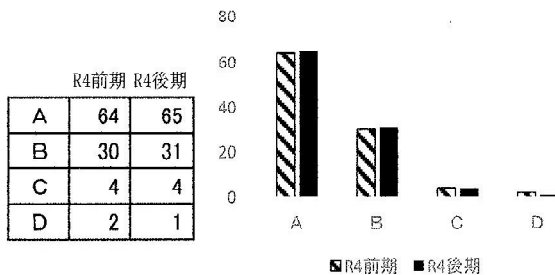
⑤ 学級のみんで協力して何かを成し遂げ、うれしかったことがありますか。



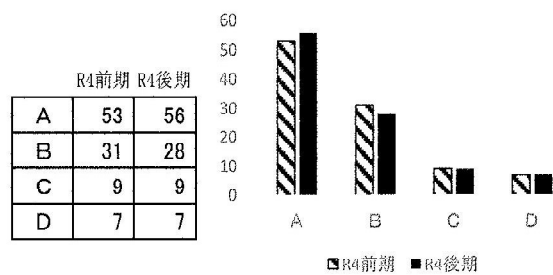
⑥ 仲間の良さを見つけることができていますか。



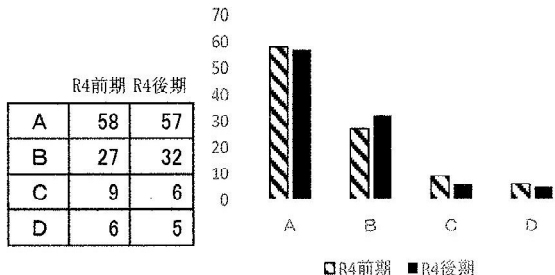
⑦ 先生はあなたの良いところを認めてくれていますか。



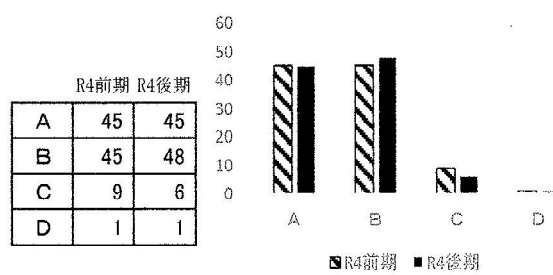
⑧ 家の人と学校での出来事について話しますか。



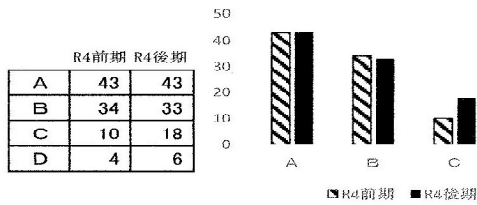
⑨ 学校に行くのは楽しいと思いますか。



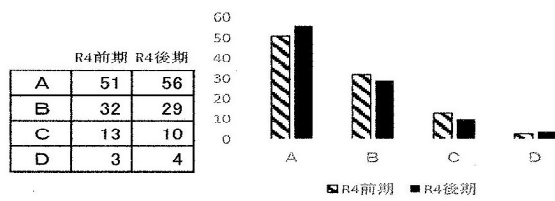
⑩ 学校の授業がどのくらい分かりますか。



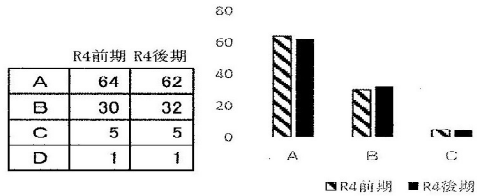
①授業で自分の考えをよく発表していますか。



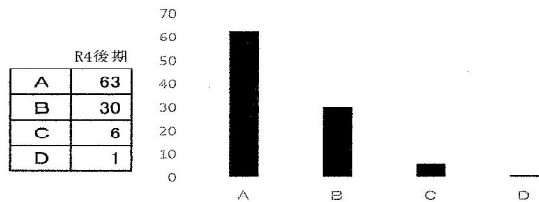
②授業の中で分からないことがあったら先生に聞きやすいですか。



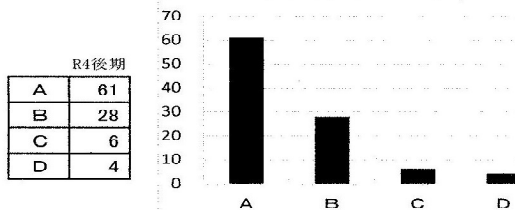
③友達、先生、地域の人達へ挨拶をしていますか。



④地域のことについて学習したり地域の人と話したり意欲的に活動していますか。



⑤地域の学習や地域との人との交流から土岐町のよさを考えたり感じたりしていますか。



### <児童アンケートから>

- 後期も、どの項目も80%以上の児童がA及びBと答えています。また、ほぼ前期と同様かさらに伸びている項目が多く、引き続き学校全体としては児童が落ち着いて学校生活を送っています。
- 「⑥仲間のよさを見つけることができているか」「⑦先生はあなたのよいところを認めてくれていますか。」は、ともに96%の児童が肯定的な回答をしています。「みんながってみんないい」を合言葉にしたインクルーシブ教育が浸透してきています。
- 「⑤学級のみんで協力して何かを成し遂げ、うれしかったことがありますか。」については98%があると回答しています。運動会等の学校行事を通してよりよい仲間関係醸成されています。
- 「学校の授業がどれくらいわかりますか。」では、93%の児童が「分かる」「だいたい分かる」と回答しています。今後もタブレットを効果的に活用して一人一人が分かる授業を目指すとともに、7%の児童に目を向け一人も取り残さない学習指導をめざします。
- 「①自分にはよいところがあると思いますか。」「②将来の夢や目標を持っている」では、80%以上は肯定的な回答をしていますが、あると答える児童が前期より下がりました。今後も継続して、どの子も自分のよさを自覚し、自分に自信をもてる子に育てていくための工夫が必要だと感じています。
- 「⑨学校に行くのは楽しいと思いますか。」では、楽しいと答える児童が前期より増え90%に近づきました。しかし、現実には、登校しぶりや不登校の児童は増加傾向にあります。全ての児童が「学校が楽しい」と感じることをできるようにしたいです。
- 後期も「④いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」では、90%の児童がいけないと答えている一方、「どちらかという」とや「そう思わない」などと答えている児童も10%います。「いじめは絶対にいけないこと」だという意識を全員の児童に指導していきます。
- 「⑩授業で自分の考えをよく発表していますか。」については、前期に引き続き全ての項目で一番低いものになりました。「主体的・対話的な学び」の具現に向け、自分から主体的に向かう姿勢が弱いことがわかります。今後は、授業だけではなく教育活動全体を通して主体性を高めていくことが必要であると考えています。